

- 和歌山に「平和の鐘」響く□1
- 阿弥陀さまと私□2
- 新・祖蹟点描□3
- 青色青光□4
- 委員改選、教区・別院決算□6
- 響流十方、行事予定□7
- つれもて聴こら□8



『紀伊国名所図会』に描かれた江戸時代後期の鷺森御坊

2020年(令和2年)
10月1日
第125号

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

総代など8人が集まり思い思いに梵鐘をつく(伊那組浄願寺)



平和への願い込め

和歌山に鐘の音響く

千鳥ヶ淵の全戦没者追悼法要に合わせ

「第40回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」が9月18日、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑(東京都千代田区三番町)で勤められた。

日中戦争・太平洋戦争の発端となった1931年(昭和6)の「柳条湖事件」が起こった日に、戦争

によるすべての犠牲者を追悼し、悲惨な戦争を再び繰返さないとの決意を確認するため毎年営まれている法要だが、今年は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、関係者のみでのお勤め。

法要では、宗門関係学校生徒2人による作文朗読に続き、午後1時15分から5

分間、平和への誓いを新たにし、仏法が十方に響き渡ることを

願い「平和の鐘」がつかれた。

同時刻、伊那組浄願寺(紀の川市東国分、刀

禰法城住職)でも、総代の小林

彰さんをはじめ、

仏教婦人会と仏教壮年会の会員



スクリーンを通し法要の様子を見つめる参拝者

鷺森別院ではライブ動画上映

ら合わせて8人が集まり、思い思いに梵鐘をついた。刀禰住職は、「現在の梵鐘は、戦後間もない昭和23

台風10号で九州各地に被害

9月6日から7日にかけて、沖縄県の大東島地方から奄美地方を進み、九州地方に接近した台風10号は、

年に新たに造られた物です。というのも、その前の梵鐘は、銘によれば寛政3年(1791年)の物でしたが、戦時中の金属資源として供出させられたのです。これは結果的に戦争に加担したことになります。当寺ではそのことの反省と痛みを感じながら、平和への願いを込めて鐘つきを行っています」と思いを語った。

浄願寺では「平和の鐘」の趣旨に賛同し、8年前から同行事を行っている。

和歌山教区においては、浄願寺のほかにも9カ寺で平和の鐘がつかれた(教務所への報告分)。

鷺森別院書院では、プロジェクターで法要のライブ動画を上映。ホームページで知った参拝者らが、現地でのお勤めに合わせ「正信念仏偈作法」を唱和した。

九州各地に被害をもたらした。北豊、長崎、

鹿兒島の3教区からの報告で、門信徒1人の死亡と多数の家屋の半壊、寺院25カ寺の被災が確認されている。

阿彌陀さま

ハウツー仏事と私

⑳ 年回法要(法事)

満中陰法要(忌明法要)を終えまして、翌年からは亡き方の「祥月命日」をご縁として法要をお勤めします。これを年回法要(年忌法要)といい、一般に「法事」と呼ばれています。

【命日とは】そもそも、亡くなられた日をなせ「命日」というのでしょうか。浄土真宗では、亡き方は阿彌陀さまのお救いによって、仏さまの国(仏国土)である浄土に生まれ、仏さまとしての命を得ておられると頂くからです。

【お勤めの意義】法事とは、仏さまと成られた亡き方から頂いた「仏縁」に

よって、私たち一人ひとりが阿彌陀さまに手を合わせ、そのお救いをよろこび、仏法を聞かせていただく大切な場だということなのです。

【毎年勤めるのが理想】そう考えますと、亡き方の祥月命日は毎年巡ってきまうので、本来であれば毎年法事を勤めるのが理想です。とはいえ、なかなか毎年集まるのは大変だから、数年ごとに、せめて10数年ごとには集まって、仏法聴聞のための大切なご縁として

亡き方から頂く尊い仏縁

うという思いが、年回法要という形になったのではないのでしょうか。

【年回の数え方】和歌山



一周忌法要でお勤め中に焼香する参列者 (了賢寺本堂)

では、一周忌、3回忌、7回忌、13回忌、17回忌、25回忌、33回忌、50回忌、百回忌(以後50年ごと)とお勤めする方が多いようです。しかし、25回忌ではなく23回忌と27回忌をお勤めする地域もあり、全国的に見

れば、その方が一般的のよう感じます。

7回忌(6年後)は十二支の半分、13回忌(12年後)、25回忌(24年後)も十二支に基づきますが、それだけでは説明の付かないところもあり、中国思想の影響や長年の習慣もあって現在の数え方に定着したようです。

【一周忌の翌年は3回忌】亡くなられて丸一年で「一周忌」を勤めることは分かりやすいのですが、間違えやすいのは、その翌年に「3回忌」を勤めることです。3回忌と聞くと、亡くなられて3年後のことかと思いがちですが、実際には2年後の祥月命日に合わせた法要です。

同様に、7回忌は亡くなられて丸6年、13回忌は丸12年で、「〇回忌」という場合、実際にお勤めする年を算出するには、亡くなられた年に「〇マイナス1」を足してください。

【お仏壇のお飾り】ご自宅で法事をされる場合のお仏壇の荘厳(お飾り)は、

一周忌、3回忌までは満中陰法要に順じ、仏花は赤色を避けた生花、ロウソクは白、打敷も白色の物。

7回忌からは、仏花に赤色などを使ってもよく、ロウソクも朱色になります。

仏前にはいずれも果物・菓子などをお供えします。

【次世代にご縁を】ひと昔前であれば親戚一同が集まってぎやかに勤められていたご法事も、最近では家族だけ、夫婦だけなど簡素化が進んできているのはさびしいことです。

できるだけお子さんやお孫さんにも法事に一緒に参っていただき、次世代、次々世代へとご縁を広げていただきたいものです。

これまで数回にわたり述べてまいりました葬儀やその一連の儀式、そして年回法要の仏事も、お念仏のみ教えをあの世代へと伝えていく尊いご縁になります。浄土真宗本願寺派の正しい法式に則り、大切に丁寧に

お勤めしましょう。(松本教智・海南組了賢寺住職)

描点蹟祖

①六角堂

新

親鸞聖人(1173~1262)が、1181年(養和元)に9歳で出家得度して「範宴」と法名を賜り、ほどなくして比叡山に上られておよそ20年の歳月が経った。

比叡山で「堂僧」としての務めを果たしながら学問と行に励まれる親鸞聖人には、そのまま官僧として山上にとどまる道もあった。実際、すぐ下の弟・尋有は同じく比叡山の僧となったが、僧都という位に昇り(僧正・僧都・律師の位階を僧綱という)、根本中堂



親鸞聖人が100日の参籠を試みられた六角堂の山門

の執行と東塔常行堂の檢校を兼務したという。

しかし、親鸞聖人の心にはいつしか迷いが生まれていた。この道を歩み続けた先に自分が真に求めるものがあるのだろうか。心は絶えず揺れ動いた。29歳の親鸞聖人は人生の岐路に立たされていたのである。

親鸞聖人、人生の岐路に

親鸞聖人の奥方・恵信尼公のお手紙が、きわめて重要な史料となっていることは、第12回で触れた。

恵信尼公は若き日の親鸞聖人について、「やまをいて、六かくたうに百日こもらせ給てこそをいのらせ給けるに…」(『原典版聖典』889頁)と、記

されたのだった。

親鸞聖人は、比叡山を出て洛中の六角堂に百日間こもられ、「後世を祈られた」というのである。

「後世」とは、現世の命が終ったあとの世界のことであり、「後世を祈る」といえば、いわば死後の浄福を願う、その願いの実現を

求めて何らかの行いをするという意味になる。

六角堂は、この場所にももる(参籠することによって、ご本尊の如意輪観音から「夢告(夢のお告げ)」を授かることができるとされていたお寺である。

ここからすると、このとき親鸞聖人の心を占めていたのは「後世」の問題であり、自らの後世についての「しるし」を夢告という形で得ようと六角堂に参籠されたということになるのか。もっとも「後世を祈る」という表現が親鸞聖人ご自

六角堂

場所 京都市中京区六角通東洞院西入堂之前町248
電話075(2)2122686
交通 京都駅から地下鉄烏丸線で6分、「烏丸御池」駅下車。同5番出口から徒歩3分。

身のものだったのか、それとも恵信尼公がそのように受け止められたということなのかは分からない。

というのも、六角堂参籠は「後世を祈る」ためだったとのみ込むには、やや抵抗を覚えるのである。もう少し漠然と、親鸞聖人は、ご自身の進路に関わるヒントとなるような夢告を得るために六角堂に参籠されたイメージする方が、しっくりくるようにも感じられるのだが。

六角堂は、正式には紫雲山頂法寺といい、聖徳太子(574~662)が開いたとされる寺。太子が四天王寺建立の用材を求めてこの地を訪れたとき、小堂を建立して如意輪観音像を安置したのが始まりという。親鸞聖人の六角堂参籠に

①参籠がいつだったか。恵信尼公の書簡と親鸞聖人の『教行信証』『後序』から、六角堂参籠は1201年(建仁元)のことと考えられる。しかし、親鸞聖人のひ孫・覚如上人作『本願寺聖人親鸞伝絵』には1203年(建仁3)とあり、しかも法然聖人の弟子になられてからのこととされ、食い違っている。

②参籠の形式。こもりきりでの参籠だったのか、比叡山から通われたのか。

③夢告によって授けられた「示現の文」とは何だったのか。そして、その意味するところとは。

次回から、これらの問題に少しずつ触れていきたい。(本紙編集部)

和歌山大空襲の日に戦没者を追悼



参拝者も法中も距離を保ってお勤めした追悼法要

鷺森別院で「平和を希う念仏者の集い」

「平和を希う念仏者の集い」が7月9日、鷺森別院本堂で開かれた。1945年(昭和20)のこの日に和歌山市大空襲があったことを忘れまいと、全戦没者を追悼し、平和への願いを新たに促す催しが続けられ、今年で27回目。例年なら約250人が参加して満堂となる法要も、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、70人が距離を保ちながら参拝した。



講師の島 和夫師

午後1時30分からの追悼法要は、教区内6組(第1ブロック)から1人ずつが出席して「正信念仏偈作法第二種」をお勤め。講師の島和夫師(和歌山組西覚寺住職、和歌山教区布教団副団長)は、大空襲の際の自身の母親の体験に触れ、寺の近くに焼夷弾が

落ちるなか、防空壕にご本尊や過去帳を避難させ、紀ノ川の土手まで逃げてひと晩を過ごしたと聞いています」と話した。また、大空襲も含め、和歌山県への爆撃や機銃掃射が少なくとも53回に及んだことを説明。「戦争体験をされた方も少なくないと思いますが、私たちは念仏者として、戦争の記憶を後の者へと伝え、二度と戦争を起こさない社会をつくるために働いていかなければ」と話した。

臨時教区会で7案件審議

和歌山教区では7月17日、臨時教区会が行われ、法規議案1件と、財務議案6件が慎重審議の上議決された。提出された法規議案は、

また財務議案は昨年度の教区一般会計決算、及び5つの特別会計の決算。※2019年度教区一般会計の決算は6月に掲載。



集会では2人が記念講演

西光万吉さん偲び 没後50年迎え集会

9月20日、紀の川市古和田会館で開かれた。集会では、川口正志さんが「先駆者の偉業に誇りを

日本初の人権宣言と言われる「全国水平社宣言」を起草した人権運動家で、浄土真宗本願寺派僧侶・西光万吉(本名清原一隆)の没後50年を記念する集会

岡崎支坊で報恩講

職員と役員だけで1日のお勤め

鷺森別院岡崎支坊では、9月19日に報恩講が勤められた。例年は18日、19日と2日間行われているが、今年

青色青光

歌山東高等学校の教師・生徒ら21人が課外授業の一環として岡崎支坊の清掃活動を行った。

お盆前には東高校生徒らが清掃奉仕



猛暑のなか本堂の扉を拭く生徒

また財務議案は昨年度の教区一般会計決算、及び5つの特別会計の決算。※2019年度教区一般会計の決算は6月に掲載。

鷺森テレホン法話

おにしさん 073-422-0243
 こころの電話 (海南組西光寺) TEL(073) 487-2430
 ヤングこころの電話 (同上) TEL(073) 487-0404
 こころの電話 (御坊組専福寺) TEL(0738) 44-0874

行事中止のお知らせ

本年度予定されていた左記行事は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。実践運動教区委員会、各ブロック門信徒総研修会(実践運動教区委員会で開催方法を検討中)少年連盟、子ども報恩講



廣澤輪番らが出動して正信偈をお勤め

この奉仕活動は、地域住民との交流を目的として10年前から毎年行われており、生徒らは本堂の畳拭きや、縁側の雑巾がけなどに精を出した。

7月3日から31日にかけて、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨により、82人の人命が失われ、2328棟の家屋が全半壊するなど、甚大な被害が出た。本願寺人吉別院では本堂の床下浸水、納骨堂の床上浸水の被害。中国・九州地方の寺院では、床上浸水や

熊本教区で義援金受付 令和2年7月豪雨

雨漏りなど39カ寺が被災。門信徒の被害は、死者29人、行方不明者1人、家屋全壊86件など多数。熊本教区では「令和2年7月豪雨災害見舞金」を受け付けている。【郵便振替】口座番号 019501211881、口座名 浄土真宗本願寺派熊本教区教務所。

ビハール和歌山が研修会

ビハール和歌山(吉田敬子会長)の研修会が7月28日、「グリーンケアとビハール」をテーマに、会員ら15人が参加して鷺森別院ホールで行われた。

「グリーンケア」テーマに 会員の中田三恵さんが話す



新型コロナウイルス予防のためフェイスシールドを着けての講義(鷺森別院ホール)

講師を務めた会員の中田三恵さん(伊那組教善寺住職)は、京都自死・自殺相談センター(Sotto)やお坊さん相談サイトhasunohaに関わるなど、さまざまな方の悩みや苦しみに耳を傾けている経験から、グリーン(深い悲しみ、

悲嘆)の具体的なケースや対処について講義。

「グリーンは、大切な方との死別だけでなく、大切

なものの喪失。娘が嫁ぐなど環境変化で起こることもそれにより、涙が止まらない、めまいなどで体調がすぐれないなどの身体的反応学校や会社へ行けなくなるなどの精神的・社会的反応が少なからず出る。喪失に対する悲嘆は正常な反応であり、周りのサポートを受けながら乗り越えようとする。しかし孤独な環境だと、気持ちを回復していくことが難しい。サポートが必要」と話した。

居室訪問を行っていることから、中田さんは、自身が独り暮らしのご門徒宅などを訪問する際に心掛けていくことも詳しく紹介。その上で「勉強したことや経験で学んだことを過信せず、柔軟な心で目の前の方に関わることが大切。ビハールは、医療、特に

ビハールサロン

「おしゃべりカフェ ひだまり」ビハール和歌山では、悩みを抱えている方の思いを聞こうと、昨年6月からビハールサロン「おしゃべり

終末期医療や福祉の場に宗教者が関わる活動として始まったが、今はその枠を超え、身近ないのちに向き合う活動(生き方)になってきている。何か目に見える活動をするだけでなく、だれかのことを想える私になることも、ビハールではないか」と語った。

カフェ「ひだまり」を鷺森別院で年4回開いている。次回以降は10月20日、来年2月9日。午後1時30分から2時間。参加費100円(菓子代)。ご希望の方は前日までの申し込みが必要。

教区少年連盟委員改選

和歌山教区少年連盟では、任期満了に伴う委員改選で左記の方が選出された。任期は2020年(令和2)4月1日から2024年(令和6)3月31日までの4年間。

▽委員長・山本行圓(伊那組蓮乗寺)▽副委員長・森田知恵(加茂組正光寺)、麻生卓(海草組法照寺)▽会計・板原充弘(有田南組円光寺)▽会計監査・鈴木玲(和歌山北組蓮乗寺)、和本正也(海南組西法寺)▽委員・佐々木敏宏(和歌山組専養寺)、西岡俊慶(和歌山東組西教寺)、長田義久(和歌山西組西勝寺)、藤岡史朗(有賀組専念寺)、菅原健(有田北組教蓮寺)、桒崎教信(日高組覚性寺)、三輪映信(御坊組光明寺)、庵戸眞道(紀南組安楽寺)※敬称略。

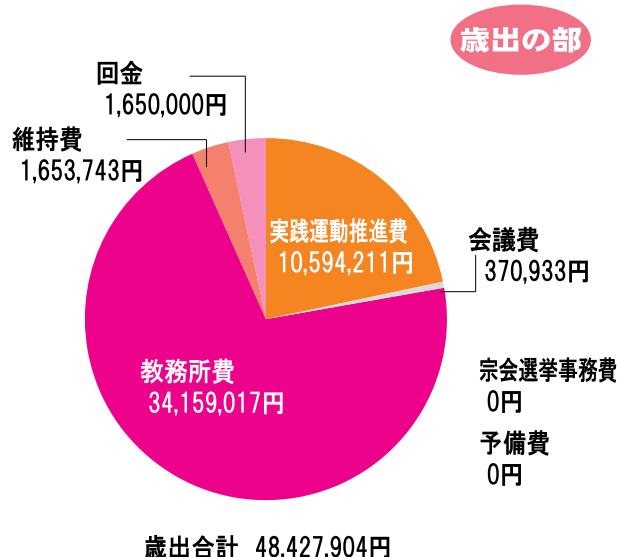
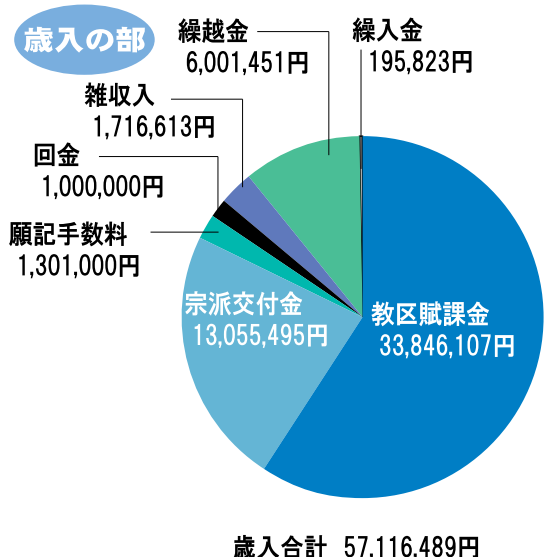
教区布教団役員改選

和歌山教区布教団では、任期満了に伴う役員改選で左記の方が選出された。任期は2020年(令和2)4月1日から2022年(令和4)3月31日までの2年間。

▽団長・廣澤敬典(和歌山教区教務所長)▽副団長・島和夫(和歌山組西覚寺)、岩崎法明(日高組蓮専寺)▽委員・伊井智雄(和歌山組極楽寺)、北本一紀(和歌山北組浄源寺)、肥田眞琴(和歌山北組正恩寺)、長谷川義則(海南組安養寺)、三浦良成(有田北組極楽寺)、藤田眞雄(日高組西教寺)、柳岡直樹(御坊組常照寺)、小野秀康(紀南組勝専寺)、北條一穂(紀南組妙道寺)、庵戸眞道(紀南組安楽寺)▽幹事・寺本泰宣(加茂組教徳寺)※敬称略。

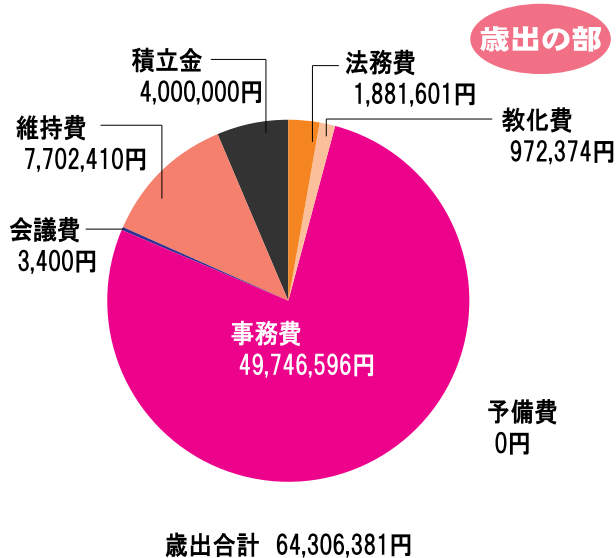
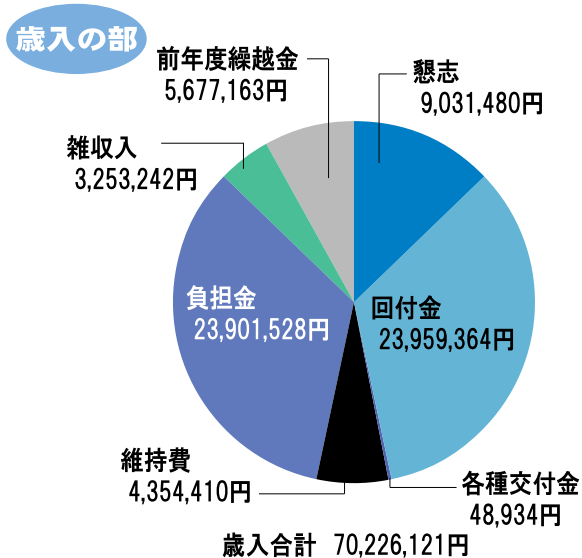
2019年度和歌山教区一般会計歳計決算

(2019年4月1日～2020年3月31日)



2019年度本願寺鷺森別院一般会計歳計決算

(2019年4月1日～2020年3月31日)



響流十方

10〜12月の催し

本山

- 10月15〜16日 龍谷会(大谷本願報恩講法要)
- 10月19日 住職補任研修
- 10月20日 住職補任式
- 11月22〜23日 全国門徒総追悼法要(秋の法要)
- 12月20日 御煤払
- 12月31日 除夜会

和歌山教区

- 10月6日 実践運動教区委員会常任委員会(鷺森別院)
- 10月8日 布教団連続法座(鷺森別院)
- 10月10日 紀南開教布教(専光寺)、仏教青年連盟委員会(鷺森別院)
- 10月14日 少年連盟役員会

教区内各組

- 12月5日 実践運動僧侶・寺族研修会、組内会(鷺森別院)

- 別院) 12月19〜20日 念仏奉仕団(本願寺)
- 和歌山西組 10月未定 組役員会(光源寺)
- 11月未定 組役員会(光源寺)
- 12月未定 組役員会(光源寺)
- 海草組 11月9日 実践運動推進協議会(未定)
- 12月5日 組内会(報徳寺)
- 12月12日 人権啓発推進僧侶研修会、反省会(未定)
- 伊那組 12月中旬 第2回組内会(光明寺)
- 有田北組 12月19日 組内会(未定)、寺族・僧侶研修会(未定)
- 日高組 12月13日 真宗法座(教専寺)
- 12月19日 組内会(未定)
- 御坊組 10月未定 仏教壮年会連盟
- 11月未定 仏教壮年会連盟
- 11月未定 仏教壮年会連盟
- 11月25〜26日 総代会念仏奉仕団(西本願寺)
- 12月26日 僧侶研修会、組内会、忘年会(日高別院)

- 紀南組 10月10日 紀南開教布教(専光寺)

得度

教師

- 7月 中牟田宏子(和歌山東組開光寺)
- 4月 永原素子(日高組教専寺) ※7月6日付修了
- 7月 湯川 惇(御坊組三宝寺)

敬弔

- 安井照子(有賀組正覚寺坊守) 7月20日
 - 藤並英子(海草組真宗寺坊守) 7月27日
 - 北島道子(和歌山組宗善寺坊守・衆徒) 9月10日
- ご生前のご活躍ご尽力に感謝申しあげ、謹んで敬弔の意を表します。

日高別院の催し

報恩講

12月4日から6日までの3日間、報恩講が勤修される。4日は午後1時15分から御坊幼稚園園児、保護者の参拜。園児らの献灯献花につづき正信偈をお勤め、引き続き法話を聴く。その後、午後3時30分から讃仏偈をお勤め。

常例法座

10月20日、午後1時30分から本堂で正信念仏偈(草譜)をお勤め、引き続き、午後3時まで岡橋大航師(相楽郡和束町・西方寺)の法話を聴聞する。

除夜会

12月31日午後11時30分から本堂にて讃仏偈をお勤めし、梵鐘をつく。引き続き、午前0時30分ごろから元旦会。正信偈をお勤めし、輪番の新年のあいさつ。

6日は、午前10時から御坊組仏教婦人会連盟研修会が行われ、その後バザーが

(本願寺)日高別院 御坊市御坊100 電話0738-12210518)

鷺森別院の催し

常例法座

- 10月15〜16日、岡橋大航師(相楽郡和束町・西方寺)。11月15〜16日、廣瀬信隆師(近江八幡市安土町)。

報恩講

11月24日から28日までの

永照寺)。12月15〜16日、大野大信師(岐阜市八代・妙徳寺)。毎座午後1時30分からお勤め、引き続き午後3時30分ごろまで法話。

(本願寺)鷺森別院 和歌山市鷺森1番地 電話073-42214677)

つれもて 聴こら

「煩惱成就の凡夫、生死罪濁の群萌、往相回向の心行を獲れば、即の時に大乘正定聚の教に入るなり。正定聚に住するがゆゑに、かならず滅度に至る」(『註釈版聖典』307頁)

一般的にご利益と聞くと、神社で願ひ事をするようなイメージが強いのではないのでしょうか。

しかし利益という言葉はもともと仏教用語です。どいう意味かと申しますと、仏さま、菩薩さまが修行を

されて得た功德を、私たちに与えてくださったことを利益と云うのです。

ですから、私たちが阿弥陀さまに、「お金持ちにしてください」とか「おぼあちゃんの病気を治してください」などのような願ひ事をして、阿弥陀さまはそれをかなえてくださるよう

な仏さまではありません。しかし、このような世間一般にいわれるようなご利益ではありませんが、浄土真宗にも確かに利益はあり

柱本 惇

この利益によって、私たちはどのような人生を送らせていただくのでしょうか。

この利益によって、私たちはどのような人生を送らせていただくのでしょうか。

その一つが「現生正定聚」、もう一つが「往生即成仏」です。現生正定聚とは、命終わって浄土に生まれることが、今定まるといふことです。そして往生即成仏とは、命終えたらすぐさま浄土に仏として生まれるということです。

小説家の芥川龍之介は、人生はオリンピックのようだと例えました。オリンピックの競技で言えば、マラソンで考えると分かります。マラソンは、スタートと同時に一生懸命走り、周りの人を抜かして一番になろうと金メダルを目指して走

す。さらに後ろを振り返って、あいつよりはいい人生を送れているな、など思いついて走っているのではないのでしょうか。このように考えますと、マラソンと人生は似ています。しかし、大きく違う点があります。それはまず、なぜ走っているかということです。マラソンは一番になるためにスタートの合図で走り出します。

暗闇を走り続けるのです。このような人生において、いつこの足が止まって歩けなくなるか分かりません。いつどこでどのように命終えていくか分かりません。しかし阿弥陀さまは、いつどこでどのように命終えても大丈夫のように、私たちが浄土に生まれていくことを今、定めてくださっているのです。命終えたその瞬間に、必ずお浄土に仏として生まれさせていた



ります。

私たちの人生もそうではないのでしょうか。一生懸命に走りながら、前にいる人を見て、あいつより幸せになつてやろう、金持ちになつてやろうなどと思いま

走っていかねば必ずゴールがあります。しかし、人生のゴールは一体どこにあるのか分かりません。そんな中を、そもそもゴールってなんだらう、この命はどこに行き着くのだらう、と真

浄土真宗の利益は、世間一般にいわれるような、願ひ事をかなえてくれるようなものではありません。この私の命、人生に直結するまことの利益を今、頂いているのです。(京都市下京区・明覚寺) 7月16日の鷲森別院常例法座の法話から